



アドビシステムズ社、ノンリニア編集の定義を一新する ADOBE PREMIERE PRO CS5 を発表

プロフェッショナルビデオのワークフローを大幅に高速化する 画期的リリース

【2010年4月12日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：クレイグ ティーゲル、以下アドビシステムズ）は本日、ADOBE® PREMIERE® PRO CS5 の提供が2010年5月28日（金）から、アドビストアおよび全国のアドビ製品取り扱い企業を通じて提供が開始されると発表しました。アドビストアでは本日より予約受付を開始します。また、アドビストアでは4月12日（月）～6月30日（水）まで、Creative Suite 5 各製品の発売を記念して、「アドビストア限定5大特典キャンペーン」を実施します。（<http://www.adobe.com/jp/joc/store>）

Premiere Pro CS5 は、業界をリードするノンリニア編集ツールとして、画期的なパフォーマンスと機能を搭載し、ポストプロダクションワークフローを牽引するソフトウェアの最新版です。ADOBE CREATIVE SUITE® 5 PRODUCTION PREMIUM と ADOBE CREATIVE SUITE 5 MASTER COLLECTION（別途リリース参照）の中核的製品である Adobe Premiere Pro CS5 には、待望の機能が多数搭載されています。新開発の Adobe Mercury Playback Engine により、サイズの大きなプロジェクトであっても素早く編集することができます。さらに、テープレスフォーマットの編集時に変換作業を必要としないネイティブ対応の強化や、他社の編集ツールとプロジェクトの連携に対応、オープンかつコラボレーションなワークフローが実現します。Adobe Premiere Pro CS5 には、Adobe OnLocation™ CS5 と Adobe Encore® CS5 が同梱されており、撮影段階からスクリーンまでの制作作業をスムーズに行うことができます。

アドビシステムズ社 ダイナミックメディア部門バイスプレジデント兼ゼネラルマネージャーのジムジェラルド（Jim Guerard）は、「Adobe Premiere Pro CS5 は、これまでよりも大幅に価値の高い製品となっています。テープレスワークフロー、プロジェクト交換、メタデータのネイティブサポートにより、映像素材の検索が可能となりました。このような付加価値のある映像作品の制作能力と、型破りのパフォーマンスと機能によって、競合他社を圧倒しています。Adobe Premiere Pro CS5 は、圧倒的な編集能力によってノンリニア編集システムの能力の定義を一新することで、業界全体を揺るがす製品となります」と述べています。

新登場の Mercury Playback Engine により、パフォーマンスが飛躍的に向上

Adobe Premiere Pro CS5 は、卓越したパフォーマンスと圧倒的な安定性を実現できるよう、ゼロから最適化が行われています。64ビット環境をネイティブサポートした新機能の Mercury Playback Engine は、OS、マルチコアプロセッサ、さらに対応の NVIDIA® GPU にも最適化されており、驚くほどにスムーズなリアルタイムの編集体験を実現します。映像制作者は、様々なビデオレイヤーで、複数の色補正やエフェクトを適用する際や、プロジェ

クトの解像度（SD、HD、2K、4K）に関わらず、複雑なタイムラインや数千クリップもの長尺のプロジェクトに従事する際、フル解像度でフルフレームレートを維持できます。また、大規模なプロジェクトを最大 10 倍のスピードで開き、レンダリングを行うことなく、AVCHD、P2、XDCAM、RED、デジタル一眼レフのカメラフォーマットをタイムライン内で自由に組み合わせることができます。ラップトップ PC ベースの編集システムや、ミッドレンジのシステムでは、これまでよりも大幅に短期間で編集作業を行うことができ、Pfeiffer Consulting が実施した独立系ベンチマークによる、生産性の向上に関する測定によると、重いエフェクトを使用した高解像度プロジェクトでは、旧バージョンとの比較で最大 10 倍のパフォーマンスの向上が示されています。

カリフォルニア州サクラメントの PBS の支局である KVIE のドキュメンタリーフィルムメーカー兼エディターのティム ウォルトン (Tim Walton) 氏は、「私は、ごく初期からの Final Cut Pro ユーザーでしたが、私の Final Cut Pro の日々は終わりを告げました。64 ビットの Mercury Playback Engine の提供により、4K RED ファイルによるリアルタイムの作業が可能になりました。その点からも Adobe Premiere Pro CS5 は素晴らしい製品であり、製品価格以上の価値があると心から思っています。私はこれまで、10 種類以上のノンリニア編集システムを使用してきましたが、Adobe Premiere Pro CS5 が現在提供している機能や合理化されたワークフローに匹敵する製品は 1 つもないでしょう」と述べています。

業界をリードするテーブルスワークフロー

Adobe Premiere Pro CS5 は、新たに最新のテーブルスカメラや、デジタル一眼レフカメラのファイルもネイティブにサポートし、業界で最も効率的なテーブルスワークフローを実現しています。次世代ワークフローにおけるアドビ システムズ社のリーダーシップは広がりを見せています。ネイティブサポートにより、ユーザーは、貴重な制作時間を変換や再ラッピングで無駄にする必要はなく、オリジナルファイルの元の品質を活用できます。Canon と Nikon デジタル一眼レフカメラのサポート以外にも、P2、XDCAM EX、HD、AVCHD 向けの既存の機能をベースに、XDCAM HD 422、AVCCAM、DPX、AVC-Intra の新たなサポートと、RED のサポート強化が実現しています。さらに、Adobe Premiere Pro CS5 ユーザーは今後、Adobe OnLocation CS5 のテーブルスカメラ向けの強力な最新のメタデータ記録機能を活用することができます。

オープンかつ柔軟な制作・配信

Adobe Premiere Pro CS5 と、Apple Final Cut Pro、Avid Media Composer、Digidesign Pro Tools のソフトウェア間での連携機能が提供され、Adobe Premiere Pro CS5 を使用する映像制作者は、容易にコラボレーションを行うことができます。これによって、アプリケーション間での素材の移動やプロジェクトでのコラボレーションを行うユーザーとワークグループには、最高の柔軟性がもたらされます。

Adobe Premiere Pro CS5 のアーキテクチャはオープンかつ柔軟であり、これを拡大することで、カスタムインフラストラクチャ内で作業を行うことができます。Adobe Premiere Pro CS5 は、Adobe Flash® Professional で作成されたパネルを使用することで拡張が可能で、放送・映画会社は、アセット管理システムやファイル転送システム、ENPS などのニュースルームシステムとの連携を実現するなど、緊密に統合された高度なワークフロー内で Adobe Premiere Pro を使用できます。このオープンな拡張性によって、ユーザーは、デザイナーにとって使いやすい、業界標準のオーサリングツールを使用し、カスタマイズされた魅力的な統合ワークフローを作成し、魅力的な体験を実現する Adobe Flash Platform のパワーを編

集ワークフローに直接活用できます。

Adobe Premiere Pro は、オンラインビデオに最適化された、唯一のノンリニア編集ツールであり、標準フォーマットへの配信にも対応しています。収録からエンコーディングまでの過程で、Adobe Premiere Pro は、メタデータを使用することで、映像素材の検索と操作を容易にし、その過程で高度な情報を付与することで、オンライン配信時のコンテンツの価値を高めます。Adobe Premiere Pro によって、ユーザーは、放送用ビデオ形式から Blu-ray ディスク、DVD、Web DVD、モバイル端末まで、各種媒体向けに、場所を選ばず作品を提供できます。

製品に関する詳細な情報は以下の URL をご参照ください。

<http://www.adobe.com/jp/products/premiere/>

アドビストア提供価格（税込）

- 本バージョンからは、すべての単体製品の特別提供版は、アドビストアのみでの取り扱いになります。
- アドビストアでは、各製品のダウンロード版も提供しています。ダウンロード版は本体価格のみでご購入いただけます。

ADOBE PREMIERE PRO CS5 日本語版 (Windows 版 / Mac OS 版)

(Adobe Encore CS5 ならびに Adobe OnLocation CS5 を含みます。)

| | | |
|--------------------------|----------|-----------------|
| ■ 製品版 | 98,175 円 | (本体価格 93,500 円) |
| ■ アップグレード版 ^{※1} | 26,250 円 | (本体価格 25,000 円) |
| ■ 特別提供版 ^{※2} | 84,735 円 | (本体価格 80,700 円) |
| ■ 学生・教職員個人版 | 33,075 円 | (本体価格 31,500 円) |

※1 アップグレード版の対象ユーザーは、Adobe Premiere ならびに Adobe Premiere Pro の全バージョンの日本語版の正規登録ユーザー、Adobe Encore DVD 2.0 日本語版の正規登録ユーザー

※2 特別提供版の対象ユーザーは、Adobe Premiere Elements 4.0、7、8 日本語版の正規登録ユーザー

アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。